

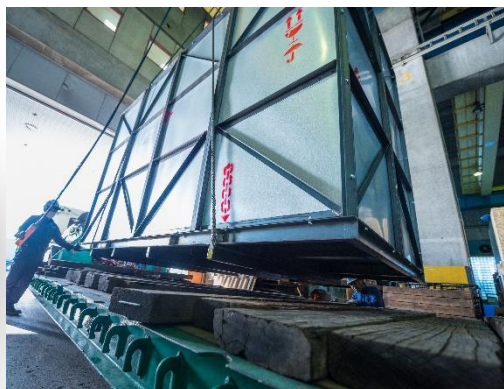
2021年3月期 決算説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

株式会社サンリツ
2021年6月8日

東証1部

【証券コード：9366】



本日のご説明内容

1. **2021年3月期 決算概要：前期比減収・減益**
2. **中期経営計画の概要**
3. **2022年3月期 業績予想：前期比増収・増益**

1. 2021年3月期 決算概要	P 3
2. 中期経営計画の概要	P 8
3. 2022年3月期 業績予想	P16
4. Appendix	P22

1-1. 2021年3月期 決算概要

- ・ 減収減益／上期:工作機械大幅減少、下期:半導体製造装置増加
- ・ 特別利益及び特別損失の発生

(単位:百万円)

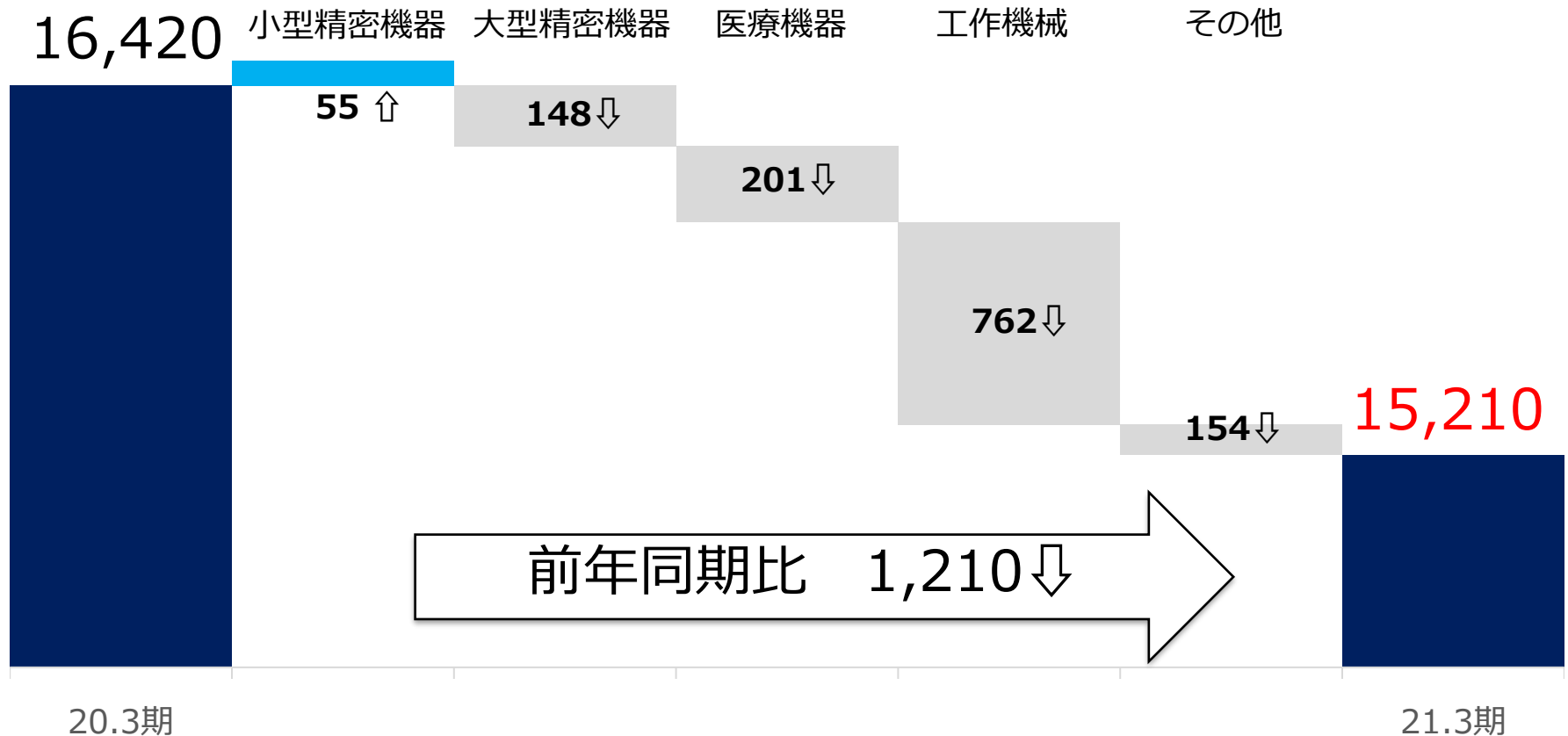
	2020.3期	2021.3期	前期比 増減率	2021.3期 予想	予想比 増減率
売上高	16,420	15,210	▲7.4%	14,500	4.9%
売上原価 (売上原価率)	13,154 (80.1%)	12,024 (79.1%)	▲8.6%	—	—
売上総利益 (売上総利益率)	3,265 (19.9%)	3,186 (20.9%)	▲2.4%	—	—
販管費 (販管費率)	2,434 (14.8%)	2,587 (17.0%)	6.3%	—	—
営業利益 (営業利益率)	831 (5.1%)	599 (3.9%)	▲27.9%	370 (2.6%)	61.9%
経常利益 (経常利益率)	770 (5.4%)	519 (3.4%)	▲32.6%	340 (2.3%)	52.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	478 (2.9%)	367 (2.4%)	▲23.2%	250 (1.7%)	46.8%
1株当たり 当期純利益(円)	85.76	65.79	▲23.3%	44.77	47.0%

1-2. 2021年3月期 取扱製品群別 決算概要

- ・ 上期:大幅に減少した工作機械
- ・ 下期:半導体製造装置等取扱い製品全般が復調の動き

(単位:百万円)

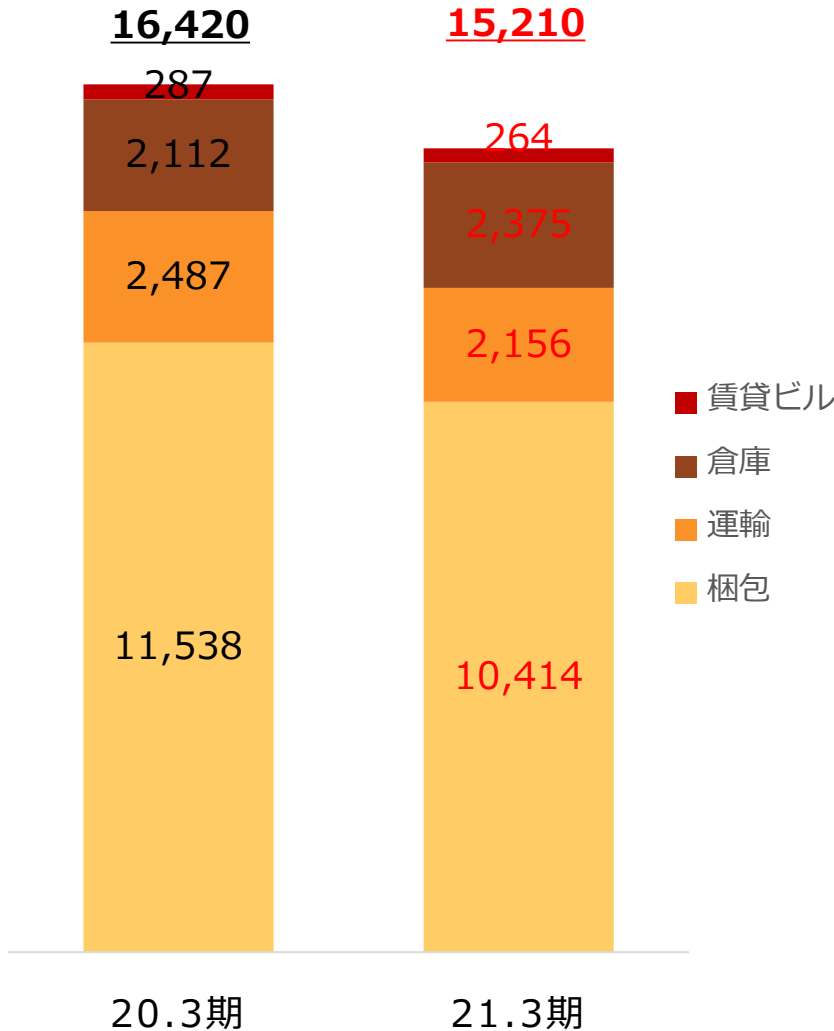
製品群別売上高の増減分析



1-3. 2021年3月期 セグメント別 決算概要

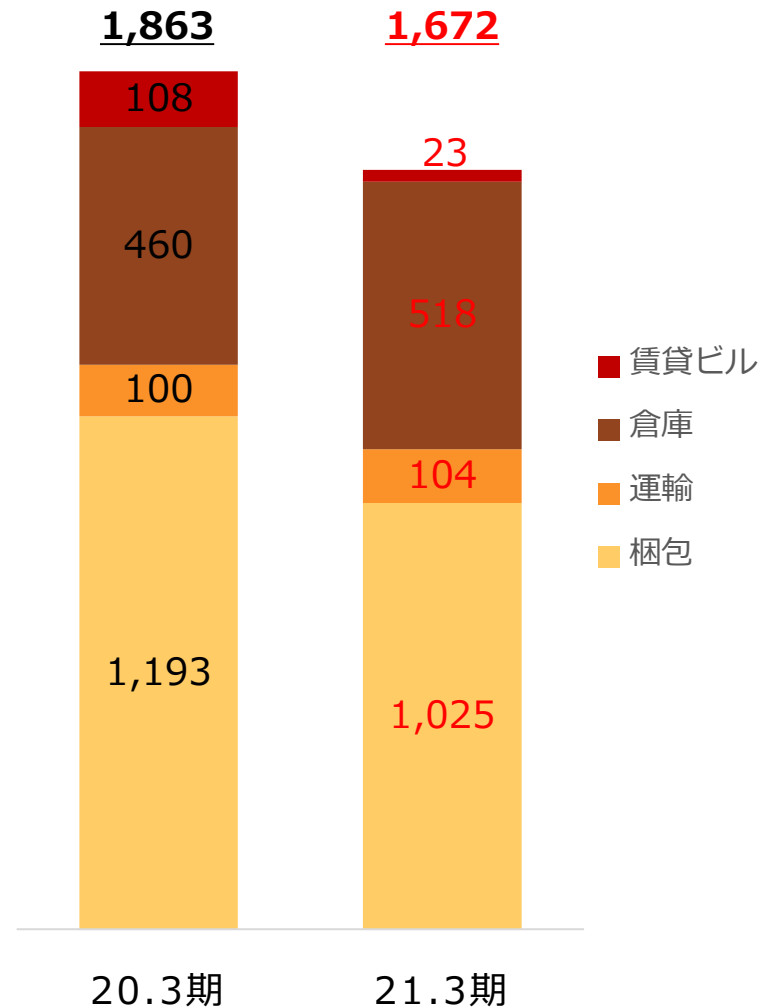
売上高

(単位：百万円)



セグメント利益

(単位：百万円)



1-4. 2021年3月期 地域別売上高 決算概要

- ・ 中国：コロナの影響により取扱い大幅減少
- ・ 米国：新倉庫稼働により取扱い増加

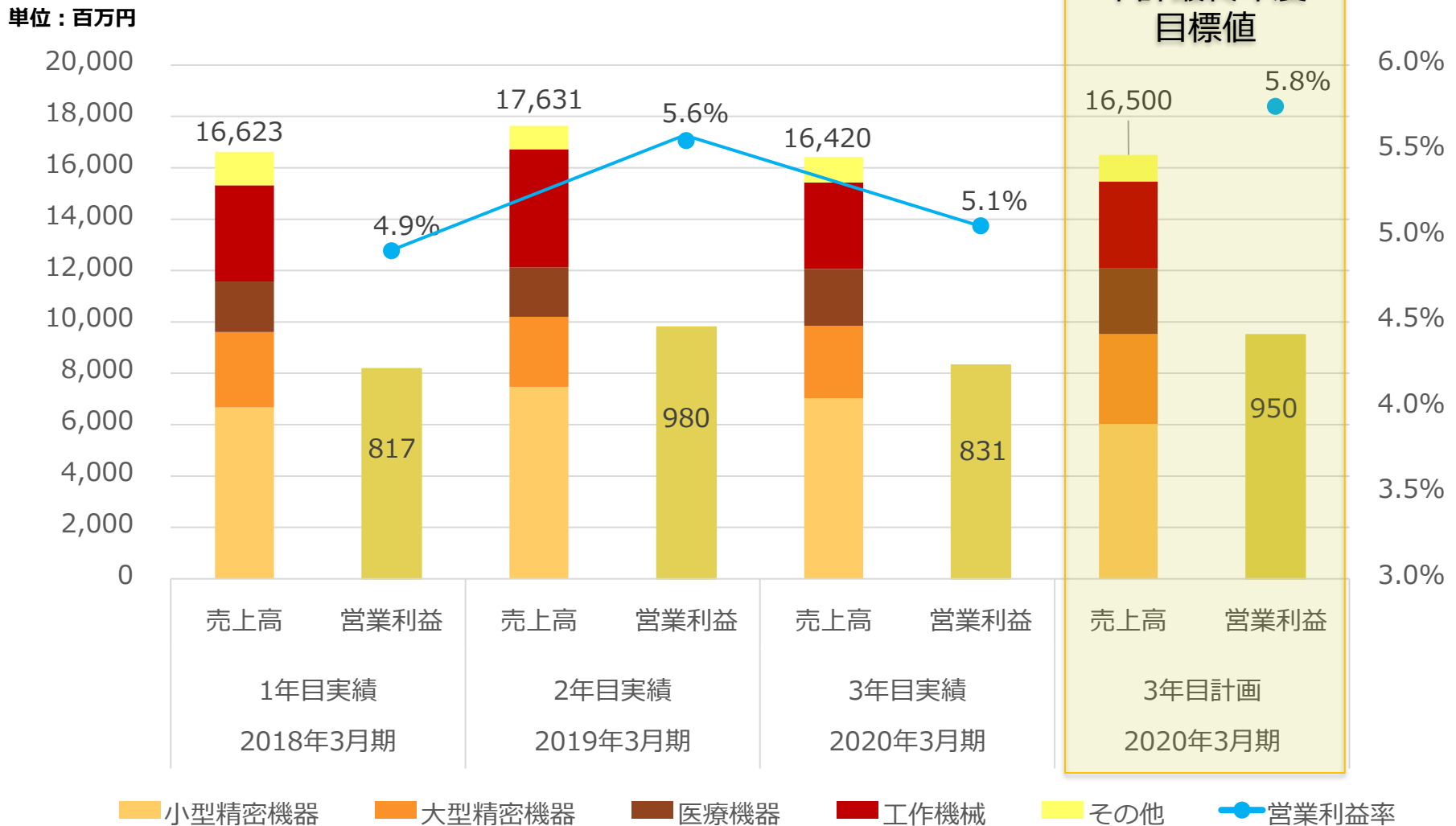
(単位：百万円)

		2020.3期	2021.3期	構成比	前期比 増減額	前期比 増減率
日	本	15,651	14,476	95.2%	▲1,175	▲7.5%
中	国	125	68	0.4%	▲57	▲45.6%
米	国	644	666	4.4%	22	3.4%
合 計		16,420	15,210	100.0%	▲1,210	▲7.4%

1. 2021年3月期 決算概要 P 3
- 2. 中期経営計画の概要 P 8**
3. 2022年3月期 業績予想 P16
4. Appendix P22

2-1-1. 前中計の振返り(実績推移)【2018年3月期～2020年3月期】

- ・ 売上高は目標値を概ね達成したものの、利益率は未達



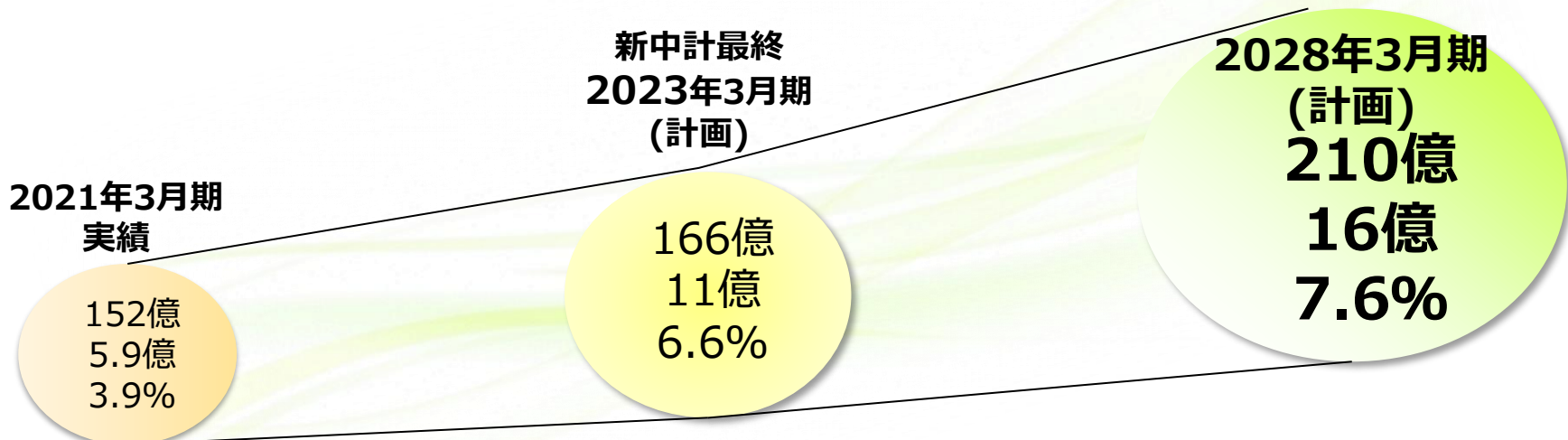
2-1-2. 前中計の振り返り(次期中計に向けて)

- ・今まで通りの取組みを着実に行ったことで、売上高は目標値を概ね達成することが出来たものの、ソリューションに繋がる新しいチャレンジが足りず、利益率は未達成となった。



- ・次期中計では、各部署とも今まで以上にソリューションの実現に向けて新しいチャレンジを行い、利益率の向上を図る。
- ・80周年を迎える2028年3月期の連結営業利益率の目標値を7.6%と定め、それまでの期間を2年-2年-3年と区切り、今回発表の2か年計画では営業利益率6.6%を目指す。

(単位：百万円)



2-2-1.中期経営計画の概要

◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

オペレーションから ソリューションへ

◆経営目標

期 間	2023年3月期 最終目標	(参考) 2021年3月期	伸び率
2021年4月 ~ 2023年3月	売 上 高 16,600百万円	15,210百万円	9.1%
	営 業 利 益 1,100百万円	599百万円	83.6%
配当方針	営業利益率 6.6%	3.9%	2.7pts
30%目途	R O E 7.3%	4.4%	2.9pts

2-2-2. 中期経営計画の概要

【国内事業】

1. 精密機器/医療機器

- ・取引採算の向上

- 既存顧客は取引領域の拡大を図る

- 新規開拓は精密機器/医療機器に特化した専門チームを組成して取引拡大を図る

- ・顧客の生産効率向上に寄与するソリューションを提案

- ・既存拠点の再構築の検討をスタート(成田地区、多摩地区)

2. 工作機械

- ・海外子会社と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供

【海外物流事業】

1. 米国西海岸に新倉庫を建設し、業容拡大を図る。

2. 顧客のグローバル製造における潜在的な物流課題の解決をサポート

2-2-3.中期経営計画の概要

(1)組織

◆事業戦略部(仮称)の設置

- ・これまで物流技術部が担ってきた技術継承に加え、新たに事業戦略の企画、物流DXの推進等を目的とした新部署の設置

(2)人材

◆人材育成の強化

- ・ソリューションを実現できる幹部人材の育成
- ・ロジスティクスに関する専門技術を備え、オペレーション力向上を実現できる監督者の育成
- ・「働き方改革」に適切に対応し、「やりがい」、「働きがい」のある職場を実現

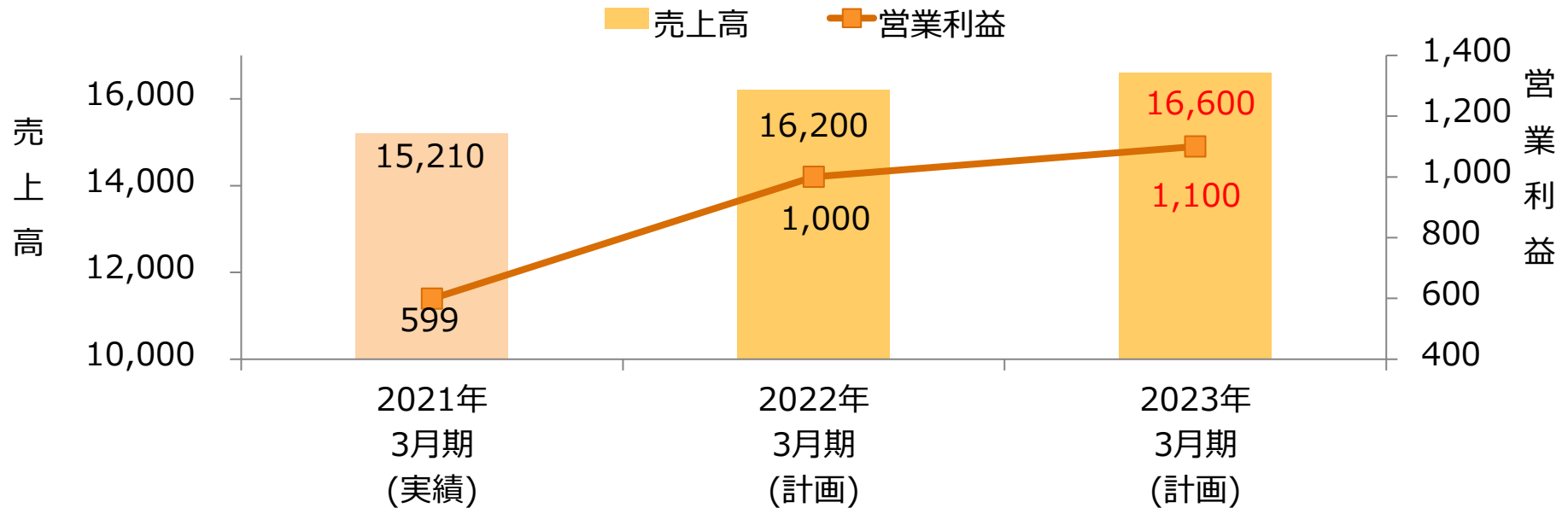
(3)設備投資

◆設備投資 2年総額25億円

- 国内：基幹システムリニューアル+物流DX 10億円
職場環境整備を含む設備投資 3億円
- 海外：米国子会社(西海岸+東海岸)12億円

2-3-1. 経営目標(連結)

重要指標：2023年3月期 営業利益率6.6%の達成



(単位：百万円)

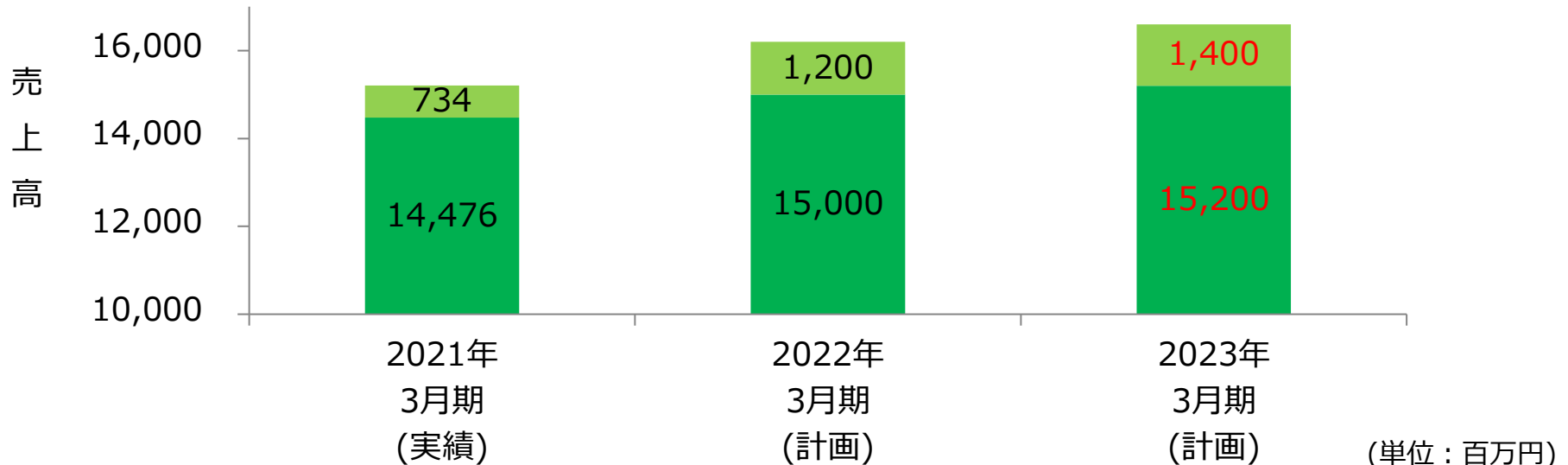
連 結	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (計画)
売 上 高	15,210	16,200	16,600
営 業 利 益	599	1,000	1,100
営 業 利 益 率	3.9%	6.2%	6.6%

2-3-2. 経営目標(国内海外比較)

重要指標：2023年3月期 営業利益率6.6%の達成

■ 国内売上高

■ 海外売上高



連結	2021年3月期 (実績)	2022年3月期 (計画)	2023年3月期 (計画)
売上高	15,210	16,200	16,600
国内	14,476	15,000	15,200
海外	734	1,200	1,400
営業利益	599	1,000	1,100
国内	599(4.1%)	850(5.7%)	920(6.1%)
海外	0(- %)	150(12.5%)	180(12.9%)
営業利益率	3.9%	6.2%	6.6%

1. 2021年3月期 決算概要 P 3
2. 中期経営計画の概要 P 8
- 3. 2022年3月期 業績予想 P16**
4. Appendix P22

3-1. 2022年3月期 業績予想

米中貿易摩擦や海上コンテナ不足の長期化による下押し要因は存在するものの、中国や米国経済の持ち直しを背景に、荷動きの回復を見込む。

(単位：百万円)

	2021.3期	2022.3期 予想	前期比 増減	前期比 増減率
売上高	15,210	16,200	990	6.5%
営業利益 (営業利益率)	599 (3.9%)	1,000 (6.2%)	401	66.9%
経常利益 (経常利益率)	519 (3.4%)	950 (5.9%)	431	83.0%
親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率)	367 (2.4%)	600 (3.7%)	233	63.5%
ROE (自己資本利益率)	4.4%	6.9%	2.5pts	—
1株当たり 当期純利益(円)	65.79	107.32	41.53	63.1%
1株当たり 配当(円)	20	32	—	—

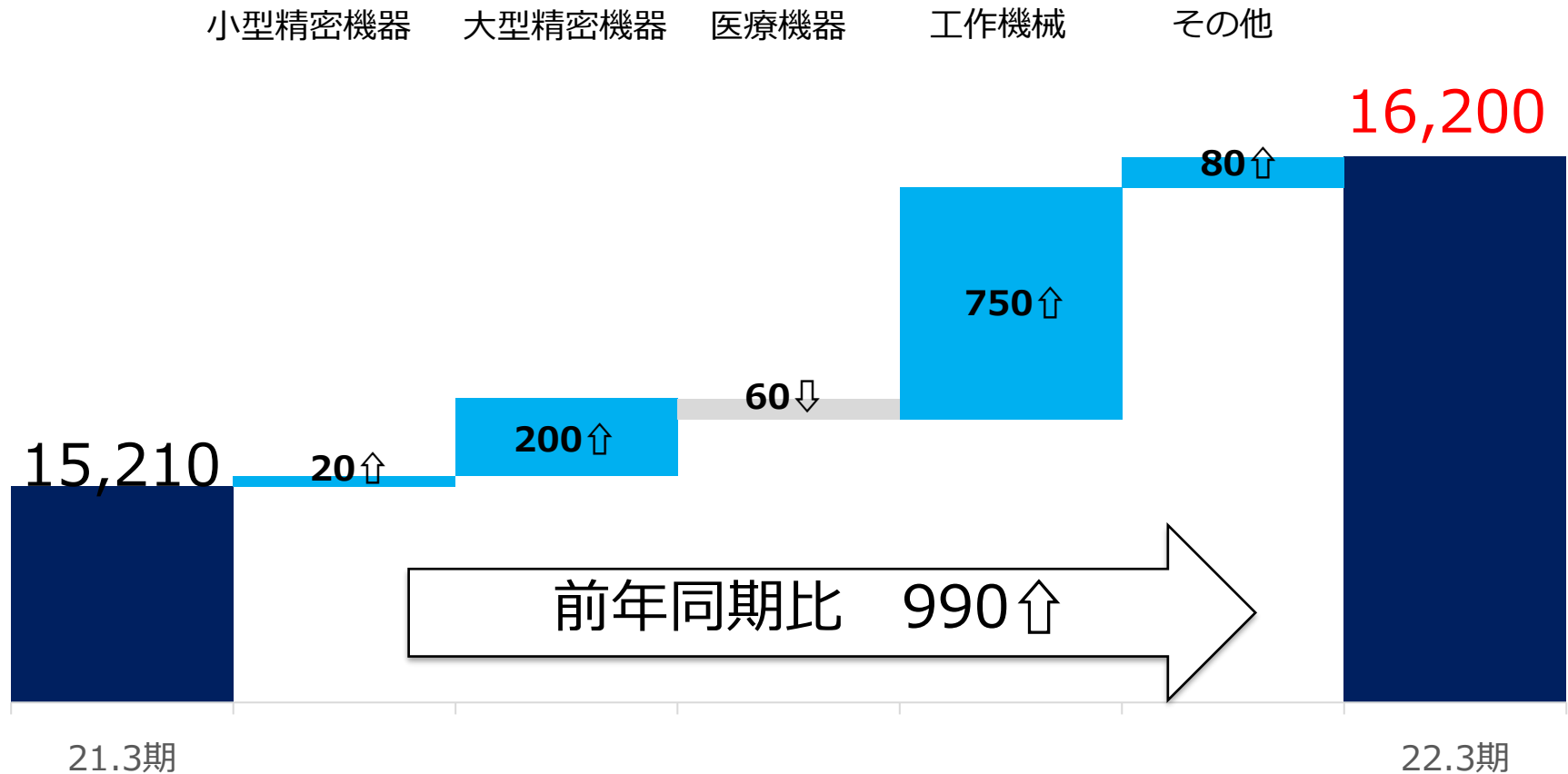
【参考】 ◆設備投資 21.3期実績 2.7億円 22.3期予想 18.8億円
 ◆減価償却 21.3期実績 6.9億円 22.3期予想 7.4億円

3-2. 2022年3月期 取扱製品群別 業績予想

- ・引き続き好調な半導体製造装置と工作機械の回復による取扱い増加を見込む

(単位：百万円)

製品群別売上高の増減分析



3-3. 2022年3月期 地域別売上高 業績予想

日本：引き続き好調な半導体製造装置と工作機械の回復による取扱い増加を見込む

米国：コロナ禍で落ち込んだ取扱いの回復を見込む

(単位：百万円)

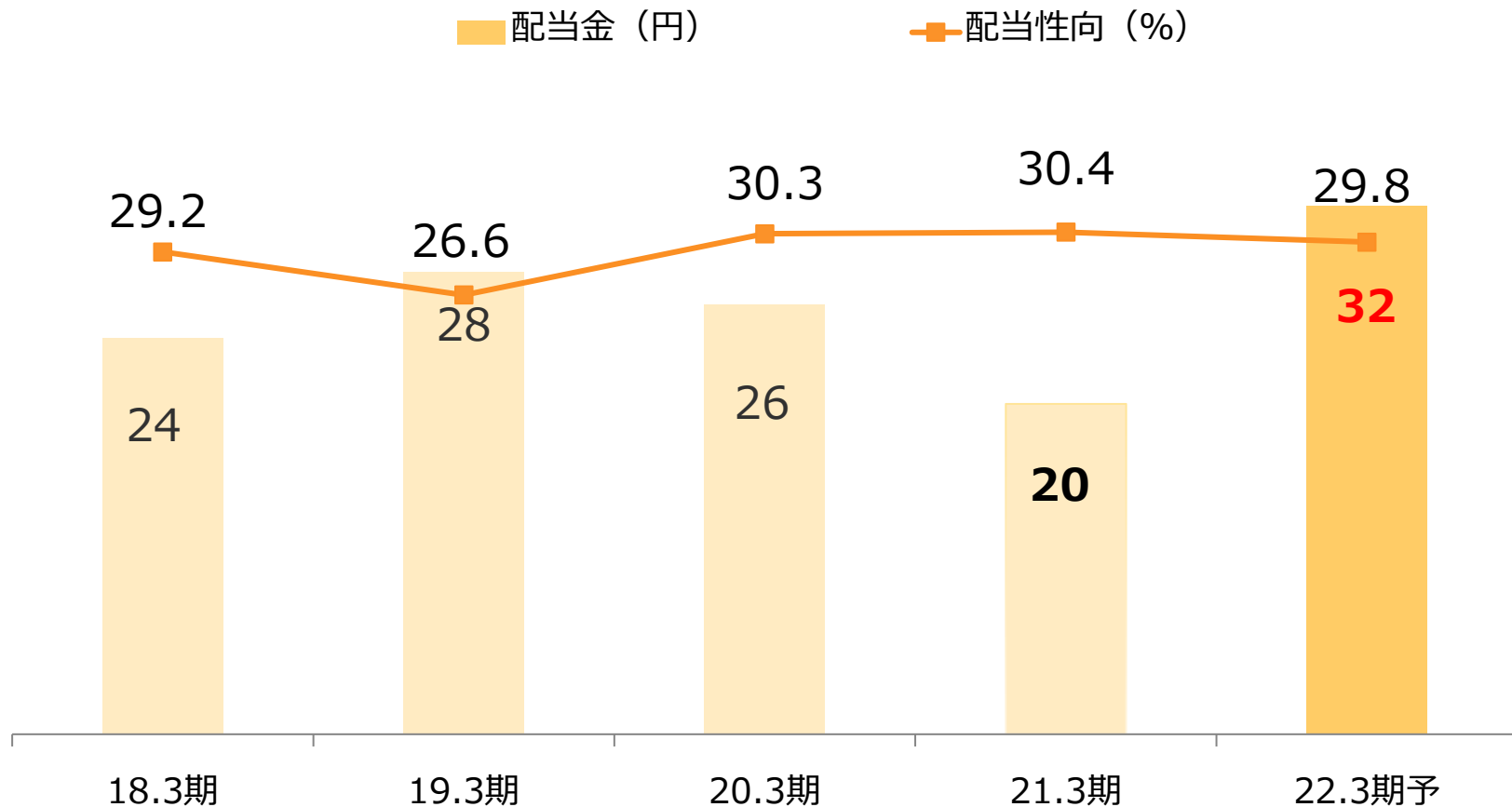
	2021.3期	2022.3期 予想	構成比	前期比 増減	前期比 増減率
日 本	14,476	15,000	92.6%	524	3.6%
中 国	68	100	0.6%	32	47.1%
米 国	666	1,100	6.8%	434	65.2%
合 計	15,210	16,200	100.0%	990	6.5%

為替レート 2021.3期 1ドル=106.82円 1人民元=15.48円
2022.3期 1ドル=106.30円 1人民元=16.70円

3-4.配当について

2022.3期：配当性向30%を維持

2021.3期：当初予想13円から20円へ増配



※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463



1. 2021年3月期 決算概要 P 3
2. 中期経営計画の概要 P 8
3. 2022年3月期 業績予想 P16
- 4. Appendix P22**

【参考】2021年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	2020.3期	2021.3期	前期比 増減	負債 純資産の部	2020.3期	2021.3期	前期比 増減
流動資産	5,147	6,398	1,451	流動負債	4,779	5,439	660
有形固定資産	12,030	11,458	▲572	固定負債	5,833	5,669	▲164
無形固定資産	21	28	7	負債合計	10,612	11,108	487
投資その他の資産	1,747	1,854	107	純資産合計	8,334	8,630	296
固定資産合計	13,800	13,340	▲460				
資産合計	18,947	19,739	792	負債・純資産 合計	18,947	19,739	792

【参考】2021年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2020.3期	2021.3期	主な要因
期首残高	1,444	1,736	
期中増減額	291	1,125	
営業活動によるキャッシュフロー	2,163	1,136	減価償却費：734百万円 売上債権の増減額：▲156百万円
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,040	▲197	有形固定資産の取得による支出： ▲213百万円
財務活動によるキャッシュフロー	▲853	190	有利子負債の増加：335百万円
換算差額	▲14	▲4	
期末残高	1,736	2,861	

【参考】梱包事業について

■ 進駐軍搬入の特別仕様の梱包指名を受ける

米軍の精密機器をミル規格に則って梱包しなければならなかったが規格に則ってきちんと梱包していた為、高い評価を受け、検査官からの信用も得ていた。

■ 防衛庁(現防衛省)から精密機器の輸送・梱包の仕事

「防衛庁規格」=ミル規格を参考に作成された非常に厳しい規格。
しかし、当社はこれを得意としており、防衛庁の検査官からも当社は高い評価を得ていた。

→「梱包が難しいものならサンリツに」といわれるまでに、信用されていた。

「信用」と「高い梱包技術」が当社の財産

【参考】事業概要

梱包事業

- 小さな精密機器から超重量貨物までの梱包を多岐に渡り対応
- 製品形状や特質・送り先（国内外）・輸送状況を考え、製品の品質を保つ
- コスト的にも最善な梱包形態を提供

運輸事業

- 精密機器、電機通信機器、計測器、医療機器などエレクトロニクス関連の製品を中心に低コストで配送
- 協力会社のサポートによる全国配送も可能
- 引越など輸送に関わる幅広い業務を行う

倉庫事業

- 空調を完備した快適な環境
- 24時間フルタイム管理・警備対応
- 梱包工場としての機能を有しており、流通加工、開梱並行処理拠点として機能していることに加えて、取扱製品に応じた設備を有する

国際物流

- ・ 保税蔵置場に梱包工場を併設
- ・ 梱包から保税蔵置・通関そして港湾・空港への輸送にいたるまで自社で対応
- ・ NVOCC（外航利用運送事業者）として船会社からスペースを買い取ることで、目的地までの最適な輸送方法を、一貫した運用責任の下、提供する

3PL

- ・ 物流改革の提案を行い、物流業務を包括的に引受ける
- ・ 高度な梱包技術と包装設計を駆使し、自社内での梱包、輸配送、保管、在庫管理、保税通関、エンドユーザーまで届けている

包装設計

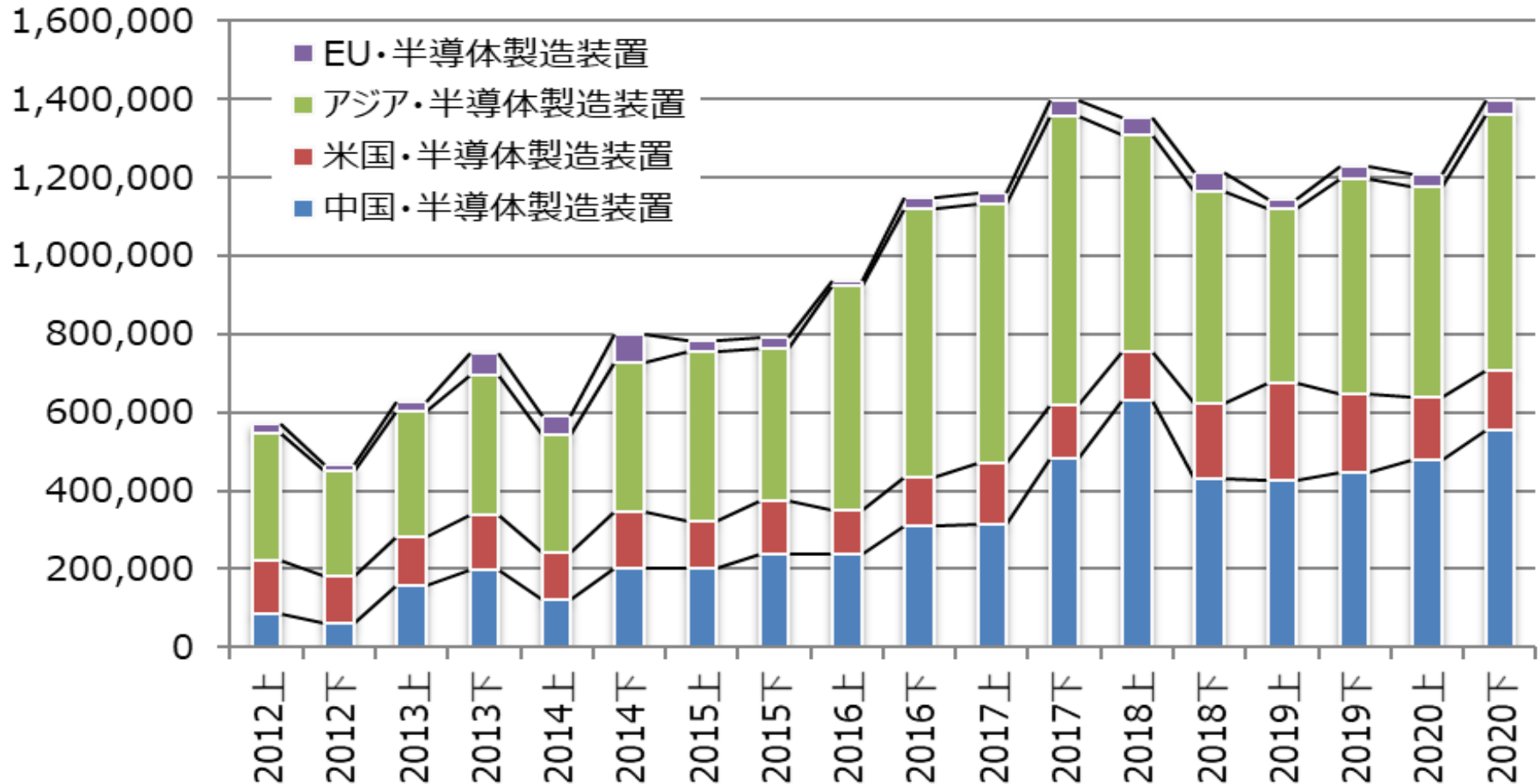
- ・ 取扱製品が多岐に渡るため、様々な包装技術・技法及び材料を採用している
- ・ 地球環境保護問題に対応した包装技術・技法の改善、向上を図っている
- ・ 常に新包装技術の開発を行っている

【参考】外部環境(～2020年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)

※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

(単位：百万円)



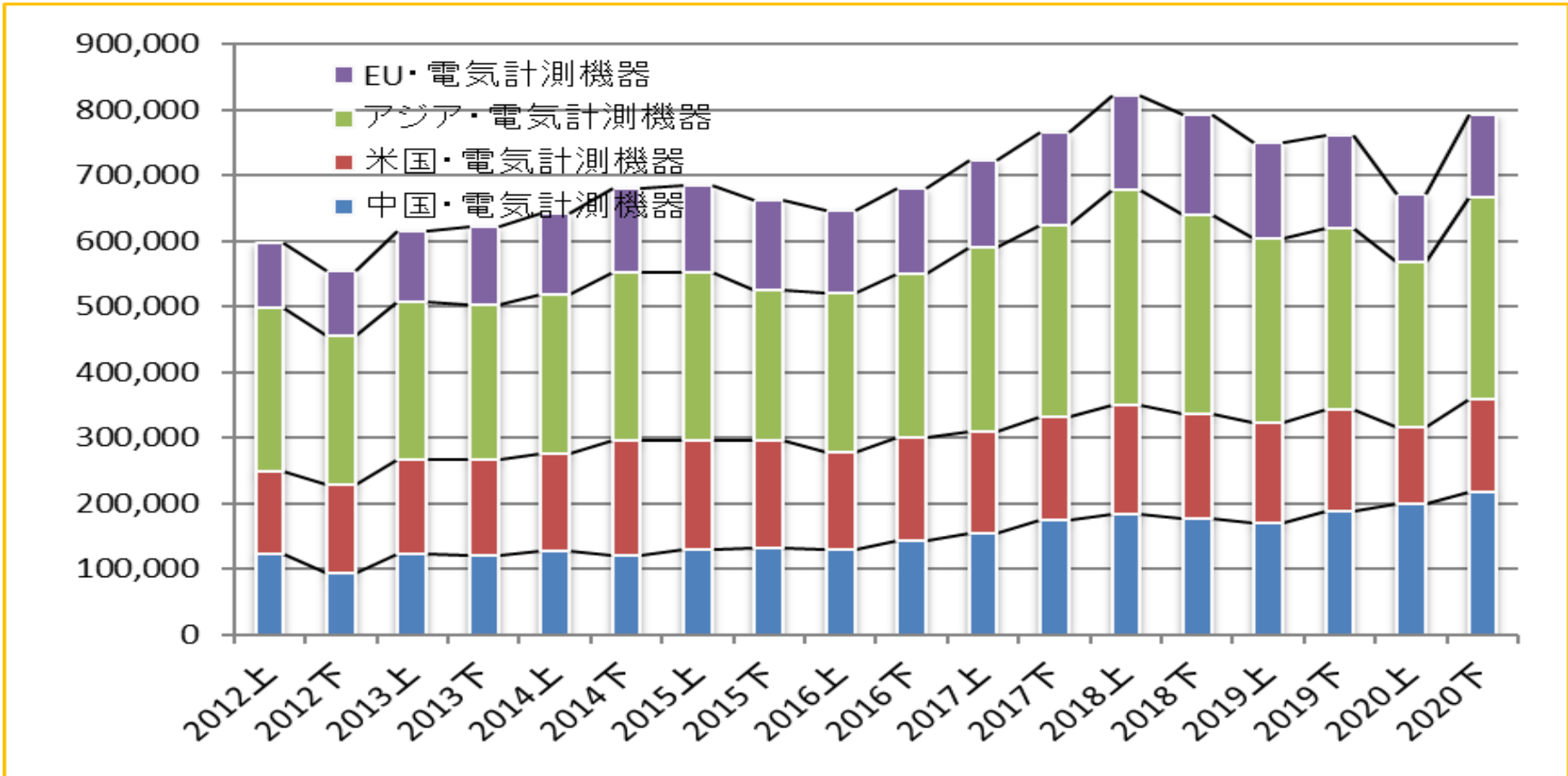
・半導体製造装置は2020年下期において、ピークを迎えた2017年と同水準まで回復している。

【参考】外部環境(～2020年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (電気計測機器)

※電気計測機器…マイクロメーター、電気用計器など

(単位：百万円)



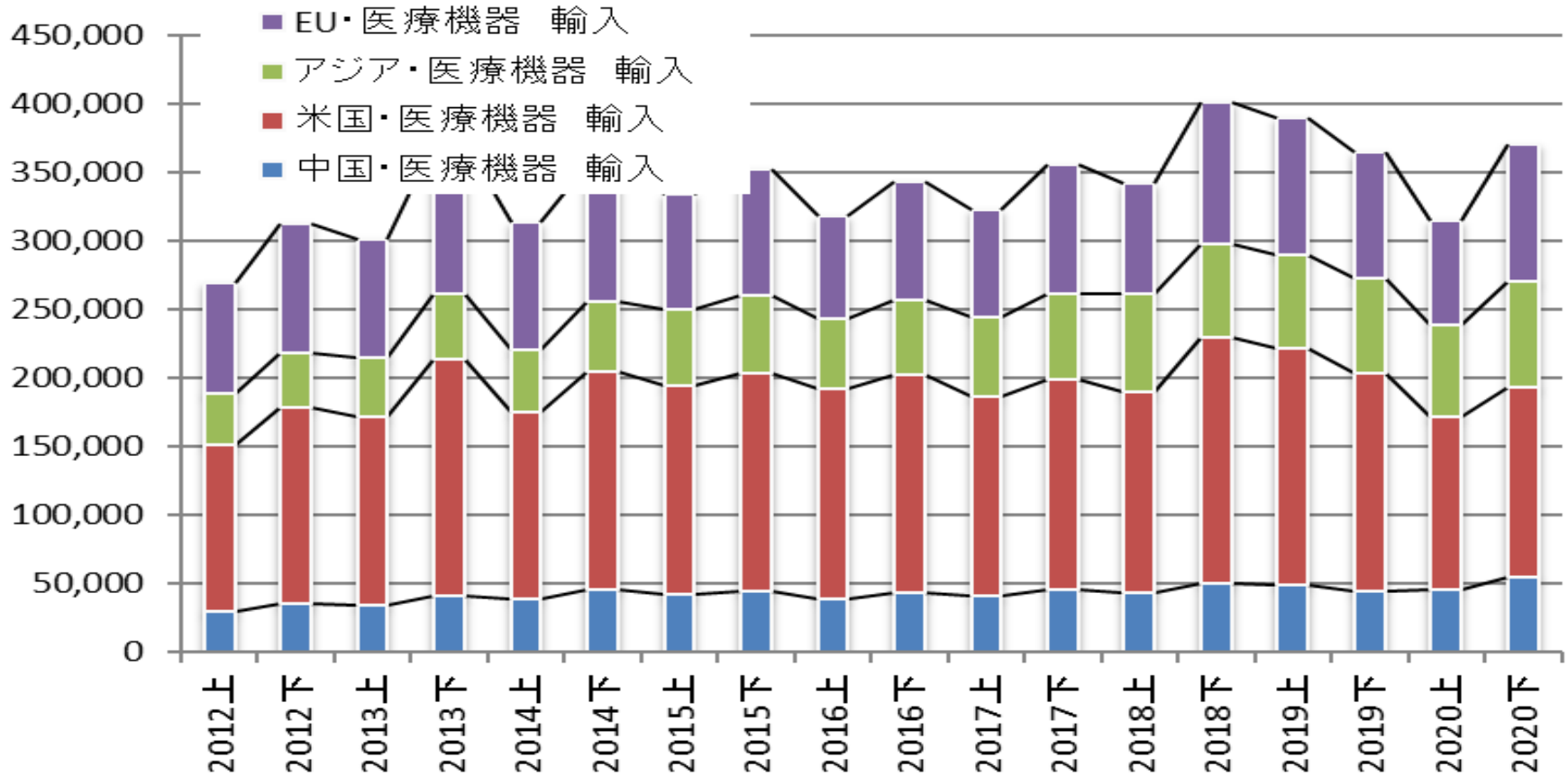
- 電気計測機器は2018年上期より減少傾向にあったが、2020年下期には増加に転じている。

【参考】外部環境(～2020年度下期)

品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

(単位：百万円)



- ・医療の高度化や高齢化に伴い、国内の需要は拡大傾向。
- ・2018年下期から減少傾向が続くものの、依然として高水準で推移している。

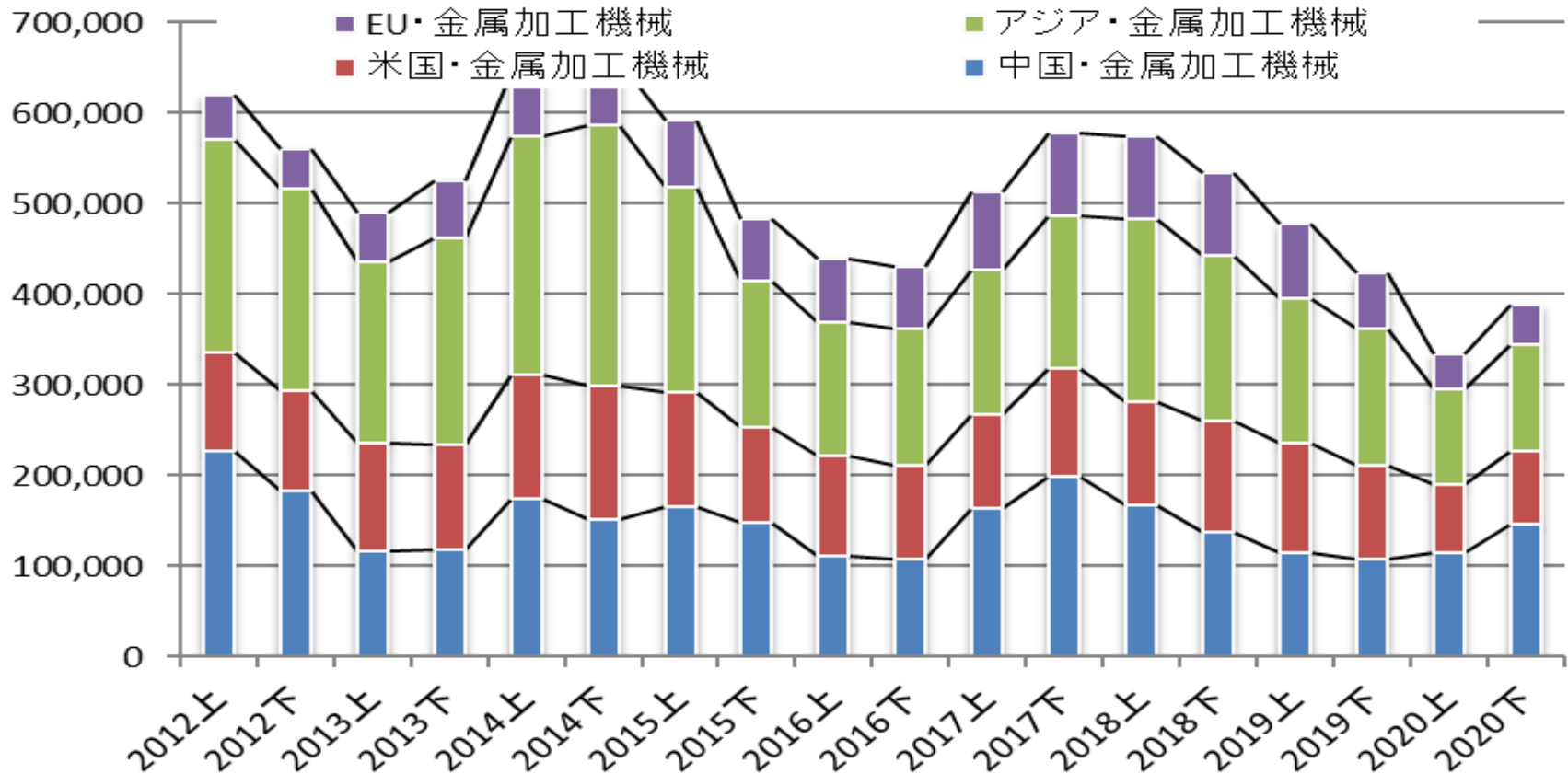
出典：財務省貿易統計より

【参考】外部環境(～2020年度下期)

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなどその他の加工機械

(単位：百万円)



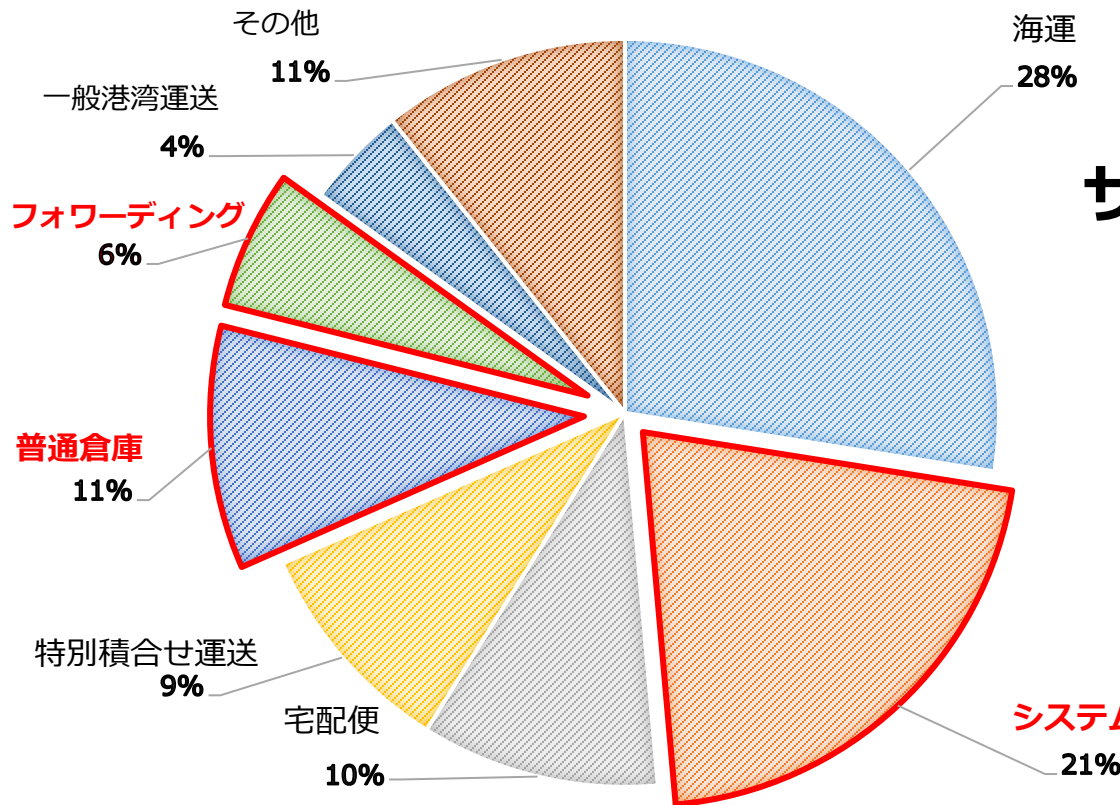
- 金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年下期には上期対比で増加となった。

出典：財務省貿易統計より

【参考】物流市場規模

物流17業種別構成比

⇒20兆4110億円(2015年度) 出典：「矢野経済研究所(2017年)」より



サンリツのターゲット市場

・システム物流	21%
・普通倉庫	11%
・フォワーディング	6%
合計	37%

⇒推計 約7兆5,000億円(2015年度)

◆うち、木製品（中でも、木箱梱包及び箱材・仕組材）の出荷額
⇒約1,237億円=木箱梱包のマーケット

出典：「包装技術」より

※「その他」には冷蔵倉庫事業、引越事業、航空貨物輸送事業、鉄道利用運送事業、軽貨物輸送事業、国際宅配便事業、鉄道貨物輸送事業、トランクルームおよび周辺事業、バイク便輸送事業、納品代行業業を含む。

※システム物流は、ロジスティクス提案を含めて、特定荷主の物流業務を一括で請負う業務のことを指し、共同配送や3PLに加え、運送業務を担う物流業者が企画提案を行うもの全てを対象とする。

【参考】 TOPIX

World Star 2021

輸送部門において受賞！

『塗装乾燥時間短縮対応アルミホイール梱包箱』

- ・高級車などのタイヤホイールの修理・塗装完了後の出荷に使用される
段ボールの改善であり、以下の改善効果を実現。
- ・納品までのリードタイムを約1日短縮。
→修理工場においては、保管スペースの削減。
→代理店においては、車リフターの占有期間の短縮。



※ 「World Star 2021」…世界包装機構(WPO : World Packaging Organisation)主催のパッケージングコンテスト
本コンテストは、世界各国のコンテストにおいて選出された包装の中から、優れたデザイン・技術及び国際的な包装水準の向上に寄与する作品を選出するものです。